

# 台風の接近や渋滞で身動きがとれない!

巨大台風が近づいて  
**風や雨が強まると...**

電車のダイヤが乱れたり、  
運行停止になります。

**電車が運行停止  
徒歩での移動も困難**

ギリギリになってあわてて  
**一斉に避難  
すると...**

橋や駅に避難者が集中し、  
大混乱や大渋滞が発生する  
おそれがあります。

**渋滞や避難者の  
集中による混乱**

このような状況避けるために、  
プロジェクトで **台風接近前の早い段階** から情報を発表します

台風上陸の  
**72時間前**  
までに

もしかしたら、  
今回の台風は...

8市町村からの情報

例えば 72時間後に  
猛烈な台風が上陸する  
可能性があるとき

**プロジェクトで協議開始**

避難情報に備えて、  
すぐに避難できる準備を  
しておきましょう

まずは**逃げる準備**です

台風上陸の  
**48時間前**  
までに

どうやら、  
可能性が高まってきた...

8市町村からの情報

例えば 48時間後に  
猛烈な台風が上陸する  
可能性があるとき

**自主的広域避難情報  
(広域避難の呼びかけ)**

親せき・知人宅など安全な  
場所に逃げてください

浸水想定区域外の安全な  
場所への自主的な避難を  
呼びかけます

徒歩 電車 自動車

※渋滞に注意して、  
自動車でも避難可能  
です

その後...  
市町村からの避難情報に注意して避難してください。

あなた自身の早めの判断が、あなたや家族の命を守ります。  
気象情報なども積極的に収集し、早めに避難しましょう。

メール インターネット テレビ 広報車 ラジオ

## 「自らの命は自らが守る」 大規模水害に対応する主体性が求められます

- <国民の皆さんへ ~大事な命が失われる前に~ >
- 自然災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
  - 気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。
  - 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
  - 行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。
  - 避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
  - (中略)
  - 「あなた」一人ではありません。避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。  
**行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。**

※内閣府中央防災会議 「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について(報告)」より抜粋

大規模水害から犠牲者ゼロを実現するためには、地域の皆さんの主体的な対応行動が必要不可欠です。  
木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトでも、地域の皆さんの命を守る行動を最大限サポートするため、  
取り組みを継続していきます。

木曾三川下流部にはゼロメートル地帯が広がり、巨大台風来襲時には、大規模な高潮・洪水災害が発生する  
可能性が否定できない状況にあります。ご自身のこととして水害対応について考えてみましょう。



伊勢湾台風の  
再来!

広大なゼロメートル地帯が広がる

# 木曾三川下流部で 大規模な水害が発生したら...

どうなる??  
どうする?? 中面へ

## 木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクトについて

「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」は、木曾三川下流部の8市町村で構成する組織であり、  
高潮や洪水氾濫による大規模水害からの犠牲者ゼロの実現に向けて取り組んでいます。



8人の市町村長による会議の様子

- 広域避難体制の構築**  
大規模水害が発生する前に浸水域内の全ての住民が安全に浸水域外に避難することを理想として、広域避難を基本とした避難対応を推進します。
- 広域避難の理解促進**  
木曾三川下流部の水害特性と早期の広域避難の重要性について、広く理解が得られるように様々なPR活動に取り組みます。

地球温暖化の影響で、巨大な台風や今までにないような激しい豪雨などにより、洪水や高潮による大規模水害が世界各地で発生しています。



巨大台風が年々増加しています。巨大台風は、まだ遠くにあっても大雨を降らし、近づくにつれて暴風や高潮などもおこします。

写真：信濃川水系千曲川（長野県長野市・令和元年10月13日）  
水害レポート2019  
国土交通省水管理・国土保全局2020年2月  
（2020年4月一部修正）



### 大河川の氾濫

近年、過去最大の大雨を観測というニュースをよく見聞きします。木曾三川下流部は大河川が集まった地域です。上流に大雨が降り続いた場合、木曾川・長良川・揖斐川が同時に氾濫することもあります。

## 広大なゼロメートル地帯

木曾三川下流部が位置する濃尾平野は、日本最大のゼロメートル地帯\*が広がっており、その面積は約400km<sup>2</sup>におよびます。  
\*ゼロメートル地帯とは、大潮のときの平均満潮位（T.P.+1.2m）以下の地域を指します



### 木曾三川下流部は？

このような状況のときに、木曾三川下流部はどうなってしまうでしょうか。

### その時あなたは？

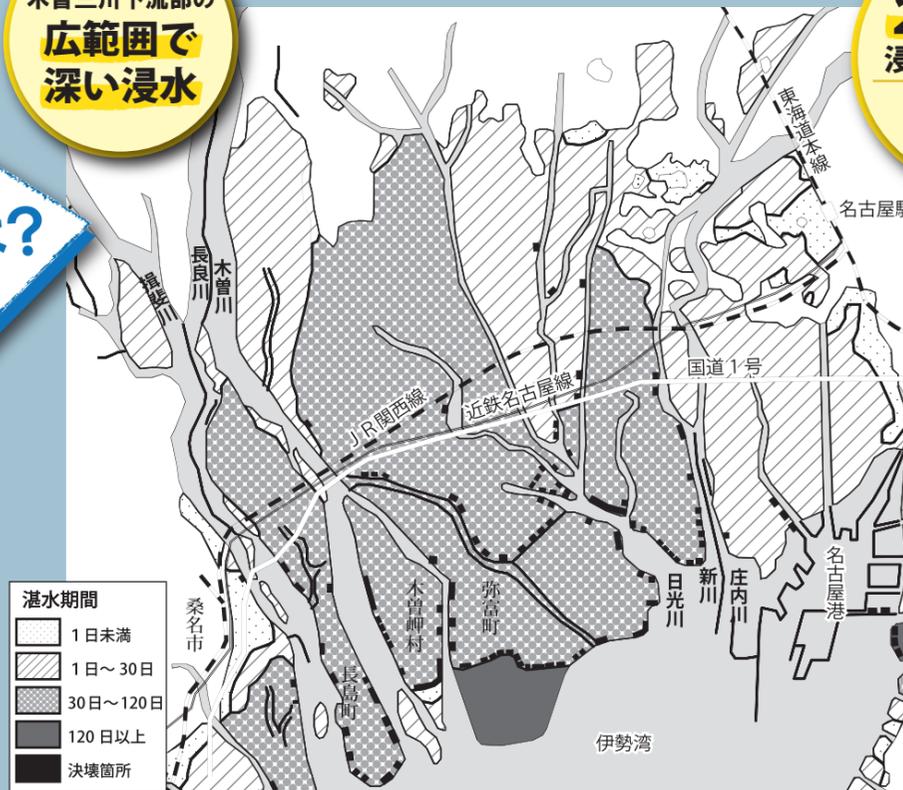
## 低地のほとんどが浸水

多くの地域がゼロメートル地帯の木曾三川下流部はほとんどの地域が浸水します。

木曾三川下流部の広範囲で深い浸水

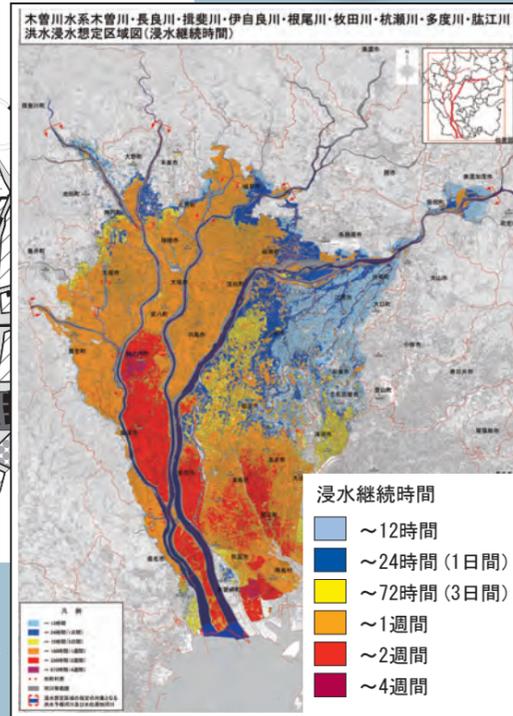
2週間以上浸水が引かない  
浸水が2週間以上継続

台風接近時外出できないほどの強い風・雨



▲伊勢湾台風による堤防決壊箇所と浸水状況（伊勢湾台風復旧工事誌上巻をもとに作成）

木曾川水系洪水浸水想定区域図 浸水継続時間  
（木曾川、長良川、揖斐川を含む9河川の図の重ね合わせ）  
公表年月日 令和2年4月24日 時点



あなたと家族を守るために

## 浸水のおそれがない地域へ避難

ゼロメートル地帯にとどまることは危険です。標高が高い地域や浸水のおそれがない地域へ避難しましょう。

## あなたの住まいや地域に居続けることはできません

木曾三川下流部のほとんどが浸水し、2週間以上浸水が引かないことが予測されます。

### どうする？

最寄りの避難所へ避難すれば大丈夫と...  
いると...

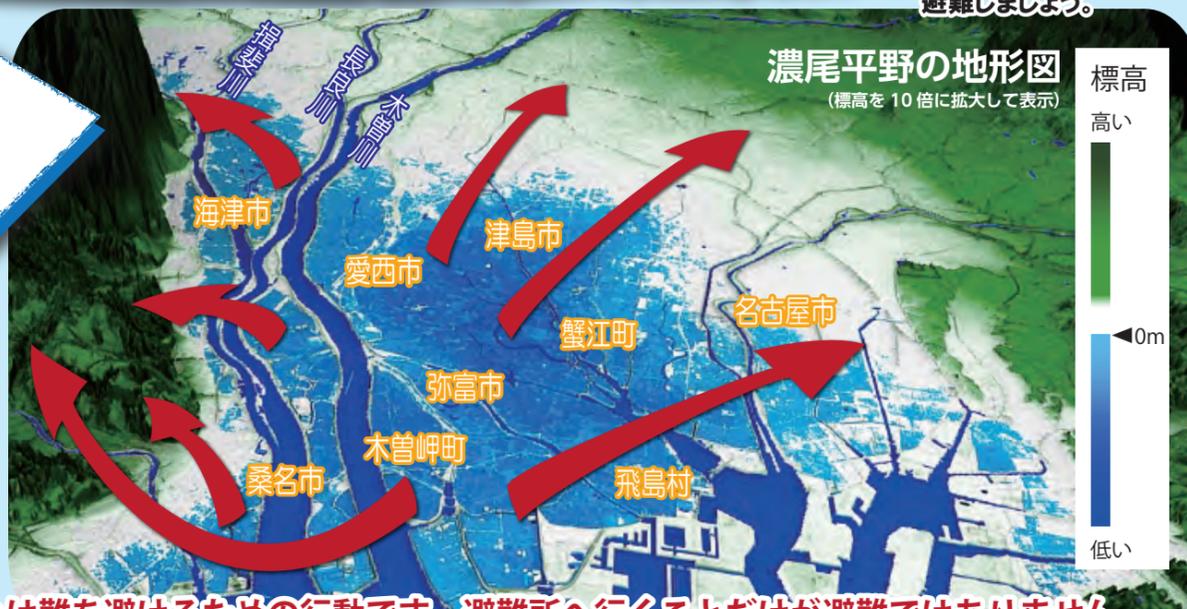
マンションだから大丈夫、3階以上だから大丈夫と...  
思っていると...

すぐに誰かが救助してくれると思っ...  
ていると...

あなたと家族を守るためには...  
どうしたらいいでしょうか。



浸水の中で水が引くまでの2週間以上も、電気・ガス・トイレが使えない生活に耐えなければなりません。



避難とは難を避けるための行動です。避難所へ行くことだけが避難ではありません。

親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先等、避難先が確保できる人は、その場所に避難してください。